

あいさつ運動の好事例

総社市立総社中学校

(生徒数250名 教職員数40名)

日本一のあいさつを目指して
～ 生徒会拡大執行部を中心とした取組 ～

アピールポイント

生徒会拡大執行部(執行部+各種委員長)14名が毎日交代で、生徒玄関で個名呼びあいさつを行っている。

また、月に1回(毎月10日)出身小学校に出向き、「あいさつ大使」として小学生にあいさつを行っている。

学期の節目など定期的に教職員全員が地域の方と共に校門・玄関・教室前廊下などに分かれて、温かいあいさつで生徒を出迎えている。

授業の始まりと終わりのあいさつの型を中学校区小・中学校5校で統一し、質の高いあいさつを行っている。

実際の様子



取組の概要

■生徒の実態

数年前から、生徒会を中心に日本一のあいさつを目指して、様々な活動に取り組んでいる。生徒玄関での朝のあいさつや小学校への「あいさつ大使」も定着しており、良き伝統になっている。地域の方から、「さわやかなあいさつをしてもらってとても気持ち良かった。」という言葉も多くいただき、学校の内外問わず、全校生徒のあいさつに関する意識が高くなっている。

■活動内容

生徒会拡大執行部によるあいさつ運動・あいさつ大使・あいさつ啓発動画
生活委員会によるあいさつチェックや呼び掛け、学期始め等の教職員の出迎え
月2回地域の方による校門でのあいさつ活動

■取組の参加メンバー

生徒会拡大執行部、生活委員会、教職員、保護司、民生児童委員

■成果・効果

継続的な取組により、あいさつに対する生徒の意識が格段に高くなったと感じている。生徒会では、毎年一つずつ新しい取組を増やしていくことで、高い意識を持続している。朝のあいさつで温かさを、授業のあいさつでメリハリを作り出すことができている。